

「デザイン畳おもて」を初の商品化 「インクジェット印刷の畳コースター」販売開始 ～お好みの絵柄がプリント可能、畳の新用途を提案～

DAIKEN株式会社(東京都千代田区、社長:清洲忠洋)は、当社の和紙*おもてにインクジェット印刷を施すことで好みの絵柄を印刷できる「デザイン畳おもて」を初めて商品化し、「畳コースター」の販売を開始しました。なお、今回の畳コースター販売は印刷関連サービス会社を通じて実施します。

※機械すき和紙を使用しております。コウゾ、ミツマタ等を使用した手すき和紙ではありません。



インクジェット印刷を施した畳コースターのイメージ

【背景】

当社は2021年4月より、異業種共創プラットフォーム「point 0」に参画し、分野を超えた企業とのオープンイノベーションを通じて、新たな市場価値の創出に取り組んでいます。その一環として、共創パートナーであるセイコーエプソン株式会社(以下、エプソン)と連携し、建材とインクジェット技術の融合による製品開発を進めてきました。2025年には、その取り組みの成果として、和紙おもてに高精細かつ高発色の図柄プリントを実現した「デザイン畳おもて」を開発。機械すき和紙を原材料とした当社の畳おもてと、エプソンの高精細インクジェット印刷技術を組み合わせることで、和紙おもてに新たなデザイン性を付加し、畳の活用の幅を広げています。一方で、日本の伝統的な文化である畳は、住宅の洋風化に伴う和室の減少などを背景に、国内の製造・流通量が年々減少しています。そのような中で、たたみボードや和紙おもてを通じて50年以上にわたり畳産業に携わってきた当社は、畳という材料や文化の魅力をより多くの方に伝えていきたいと考えています。

そこで今回、建材用途にとどまらない畳の新たな展開として、「デザイン畳おもて」を活用したノベルティ向け畳コースターを商品化しました。当社の和紙おもては撥水性を備えており、お手入れが簡単なため、ドリンク用コースターに適しています。本製品を通じて、より幅広いお客様に畳に触れていただき、畳の良さを実感いただく一助となればと考えています。

当社は今後も、積極的な共創活動を通じて、「和室の床材」とにとどまらない畳の用途を開拓し、多様化するライフスタイルに調和する、新たな畳の可能性をご提案してまいります。

【技術紹介】

従来、当社の和紙おもてには、インクジェット印刷時にインクが定着しにくいという課題がありました。そこで今回、インクジェット用の前処理剤を、和紙おもてのコーティング工程に混合することにより、印刷のインクの定着と発色が改善されました。



【「インクジェット印刷の畳コースター」の特長】

- ①材料のDAIKENの和紙おもてには撥水性があるため、コースターとして使用可能。
 - ②インクジェット印刷により、好みの絵柄や文字等をプリントできます。
- (※最小ロット30枚～の受注生産となります)

「インクジェット印刷の畳コースター」紹介ページ（東京リスマチック社のサイトが開きます）

<https://www.lithmatic.net/service/488>

【「販促EXPO」での出展の様子】

6月24～26日に東京ビッグサイトで開催された「販促EXPO」では、販売元である東京リスマチック社のブースで、本製品を出展しました。来場者からは、「畳のコースターは珍しく興味をひかれる」などの声が寄せられました。



「販促 EXPO」東京リスマチック社ブース



「インクジェット印刷の畳コースター」展示

【お問い合わせ先】

インクジェット印刷の畳コースターに対するお問い合わせは
ソリューション開発部 イノベーション課 03-6271-7778

以 上

※ここに掲載されている情報は発表時のものであり、ご覧いただいている日と情報が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。